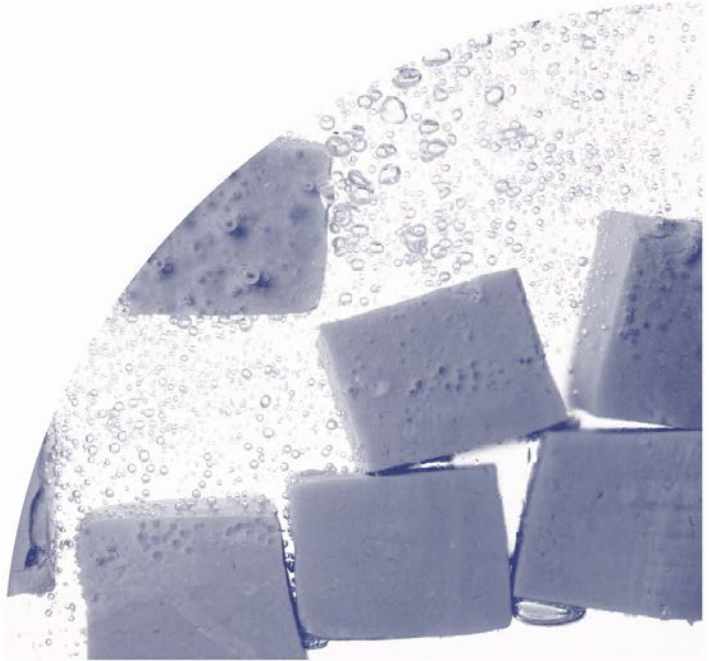
2019年9月期
第2四半期決算説明

2019年5月8日

株式会社篠崎屋　2926

http://www.shinozakiya.com



損益計算書

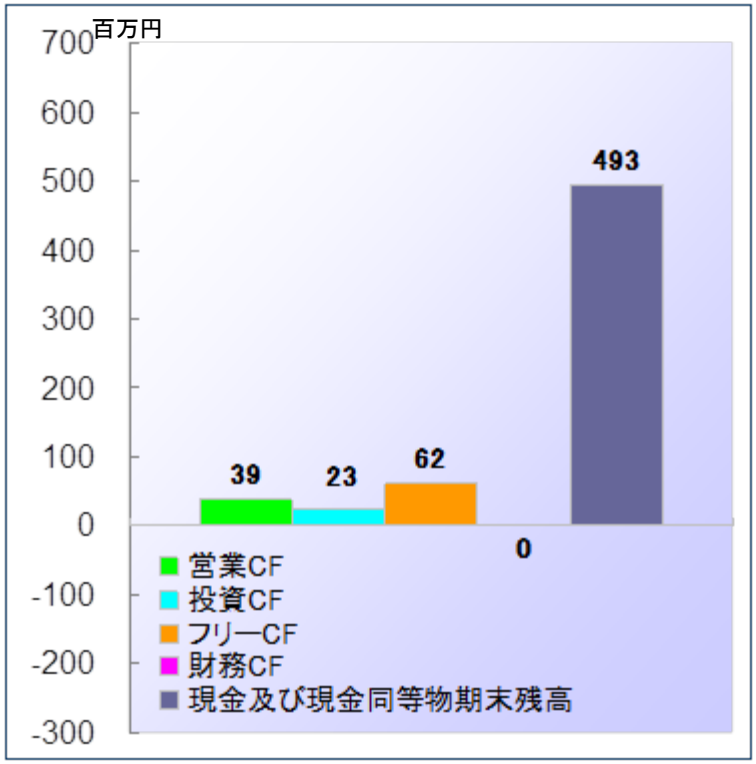
単位：千円	18年3月期	構成比	19年3月期	構成比	前年同期比
売上高	2,084,356	100.0%	1,644,078	100.0%	78.9%
小売事業	1,776,631	85.2%	1,467,046	89.2%	82.6%
その他事業	307,724	14.8%	177,032	10.8%	57.5%
売上原価	1,473,214	70.7%	1,129,562	68.7%	76.7%
売上総利益	611,141	29.3%	514,516	31.3%	84.2%
販管費	581,135	27.9%	497,327	30.2%	85.6%
営業利益	30,006	1.4%	17,188	1.0%	57.3%
営業外収益	1,042	0.0%	1,683	0.1%	161.5%
営業外費用	11	0.0%	408	0.0%	3671.5%
経常利益	31,038	1.5%	18,463	1.1%	59.5%
特別利益	1,525	0.1%	49	0.0%	3.2%
特別損失	1,878	0.1%	236	0.0%	12.6%
当期純利益	17,579	0.8%	8,498	0.5%	48.3%

貸借対照表及びキャッシュフロー計算書

貸借対照表

単位：百万円	18年9期	19年3期	増減額
流動資産	604	656	52
現金及び預金	430	493	63
売掛金	90	87	△ 3
棚卸資産	41	35	△ 6
固定資産	937	900	△ 37
有形固定資産	694	692	△ 2
無形固定資産	10	10	0
投資その他の資産	232	198	△ 34
資産合計	1,542	1,556	14
流動負債	448	453	5
買掛金	287	302	15
未払金	95	89	△ 6
固定負債	1	1	0
純資産	1,092	1,100	8
負債純資産合計	1,542	1,556	14

キャッシュフロー計算書



- ○ 既存店舗リニューアルに伴い固定資産増加
- ○ 閉店店舗に伴う敷金の返還により投資その他の資産減少
- ○ 営業CFは、利益計上、減価償却費、買掛金の増加等が要因

2019年9月期の取組みと2Q迄の状況

商品開発の強化

・茂蔵オリジナル商品の開発強化
・顧客の利便性とまとめ買いを目的に賞味期限の長期化を追求
　⇒　フレッシュパック商品を投入
・戦略的カテゴリー構成比の適正比率を追求

一時的なアイテム数の減少による顧客数減少

販売手法の強化

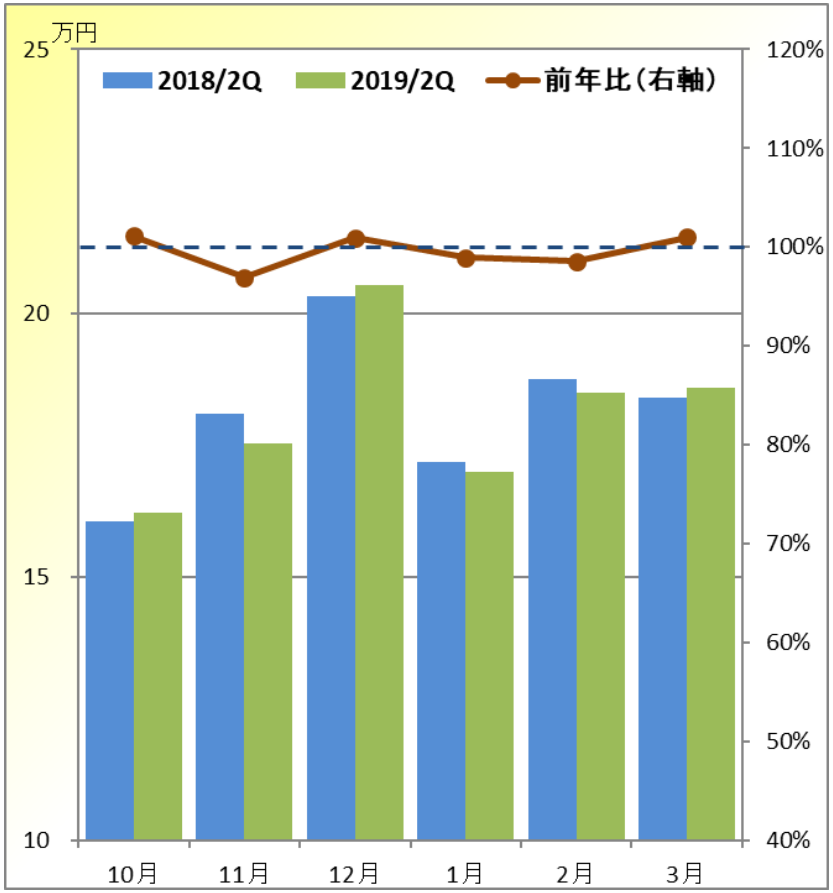
・研修センターを活用し、販売ノウハウの共有化を継続的に推進
・費用対効果の高い店舗から店舗リニューアルを実施
　⇒　対象リニューアル店舗はパート・アルバイト全員研修を実施
・新店出店については、前期同様のスタンス

リニューアル・研修の効果による実施店舗は顧客数増加

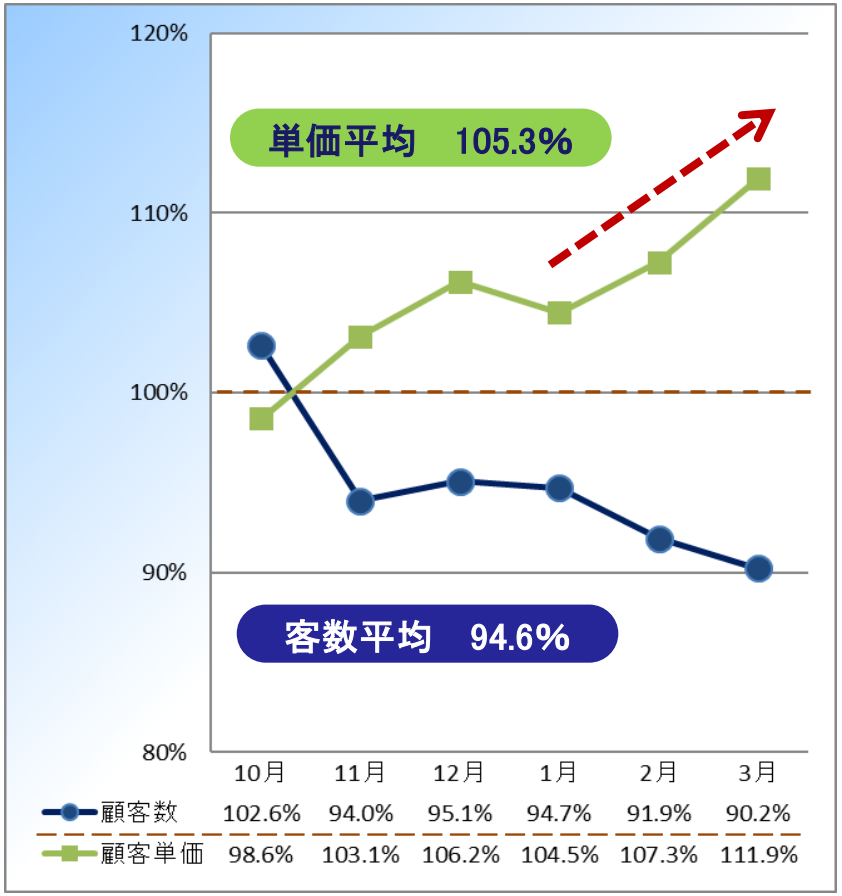
直営店舗の実績

1店舗平均売上高は18.1万円→18.0万円（前年比99.6%）
1月より段階的に販売価格を見直し客単価は上昇傾向（足元は客数減以上の伸び）

1店舗平均売上高推移 （単位：万円）



顧客数・顧客単価の前年比推移

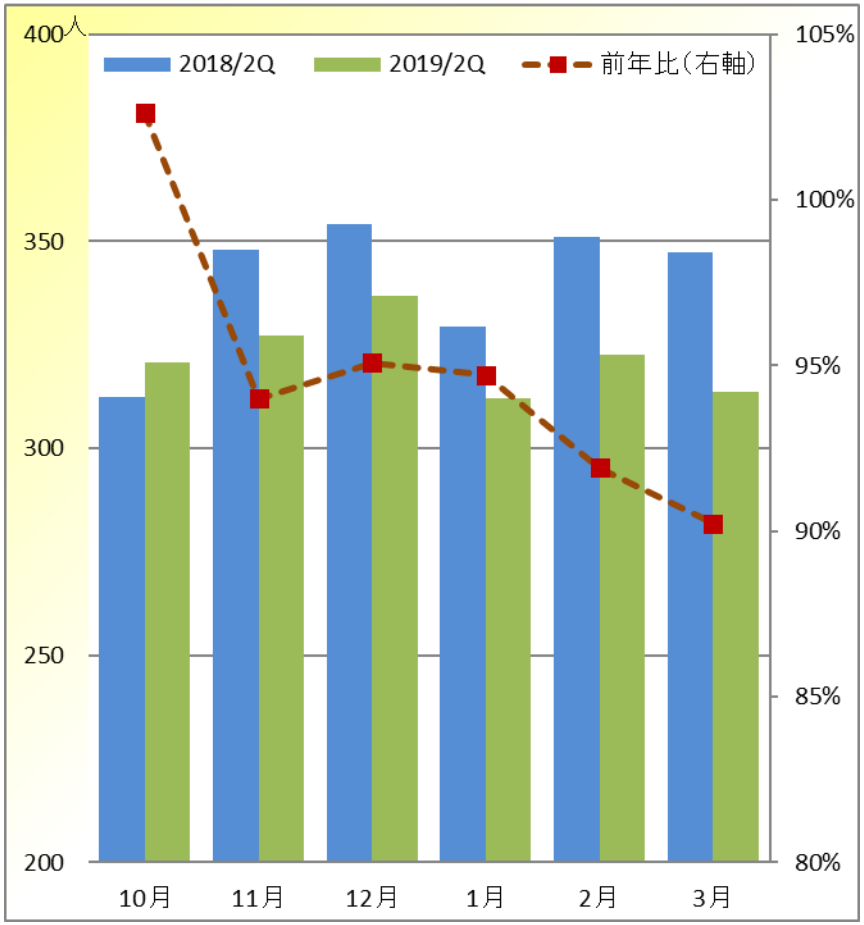


顧客数の結果

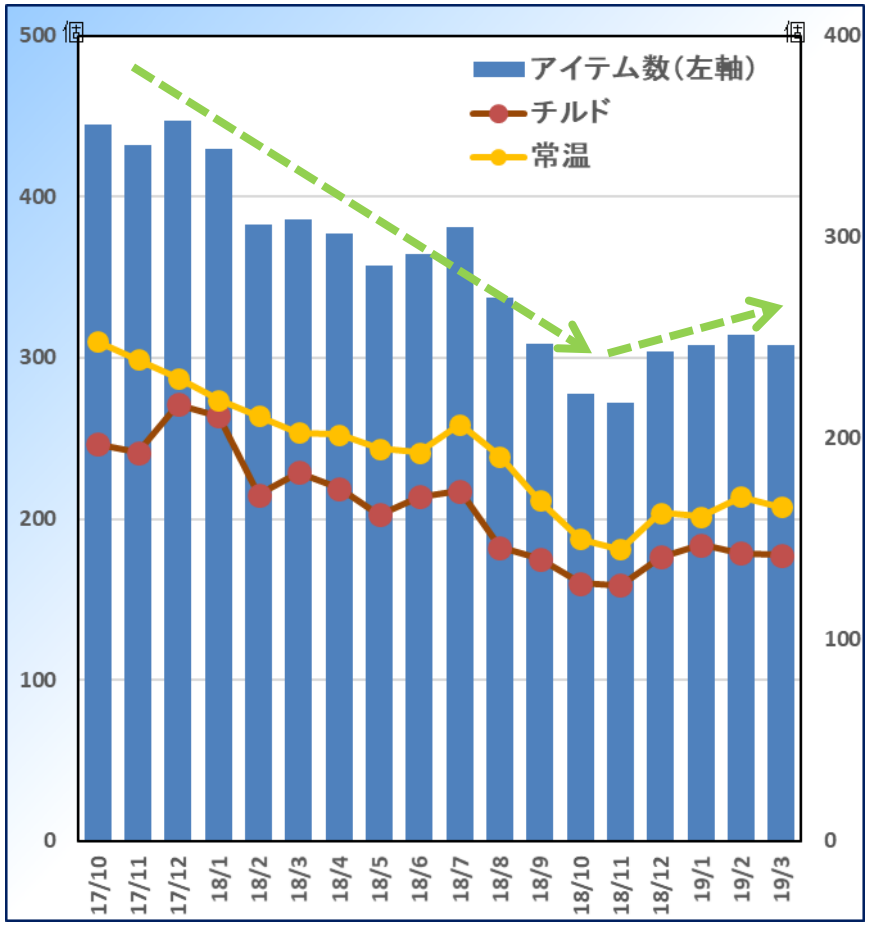
1店舗平均340人→322人（94.6%）

⇒茂蔵オリジナル商品を強化するため、一旦アイテムを絞り込む

1店舗平均顧客数の推移



商品アイテム数の推移

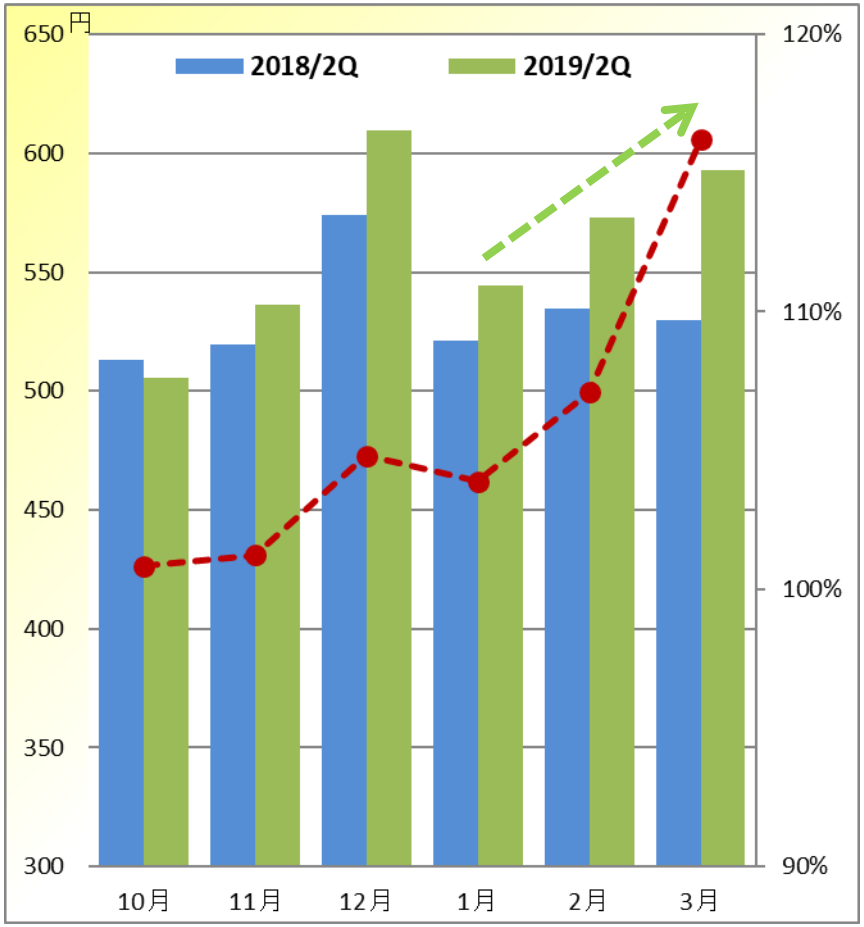


顧客単価の結果

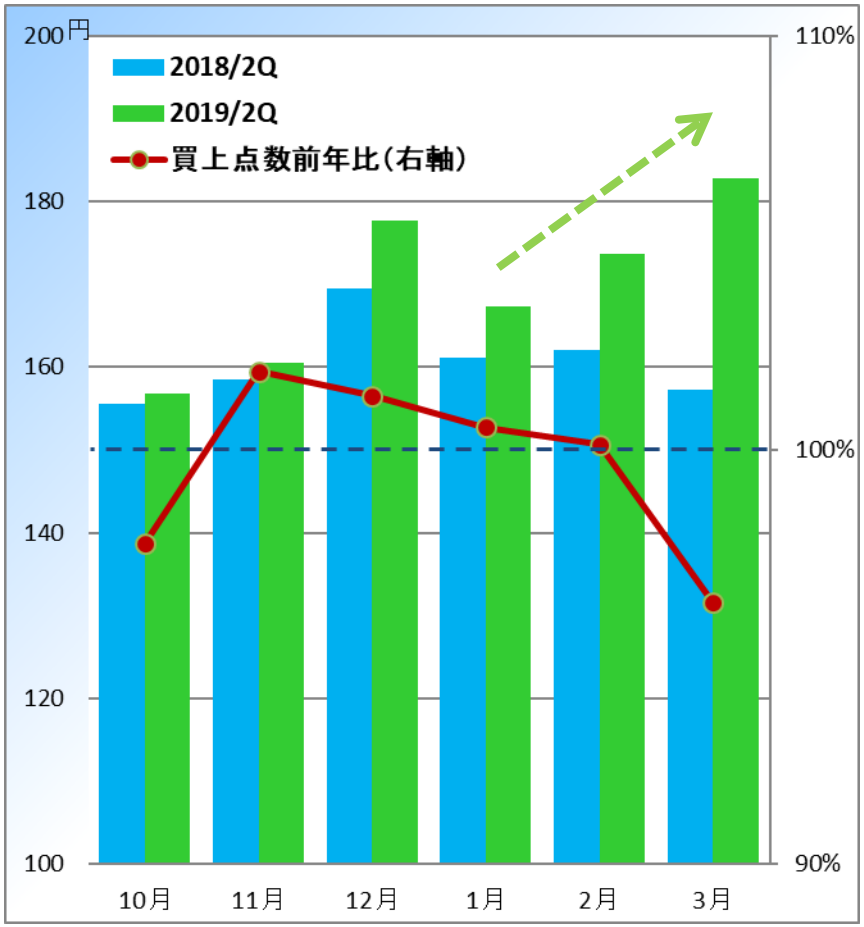
顧客単価は533円→561円（105.3%）と前年同期を上回る

⇒1月からの価格見直しに伴い買上単価前年比平均が105.7%（3月は116.2%）、一方で買上点数は前年比99.6%（3月は96.3%）

顧客単価の推移 （単位：円）



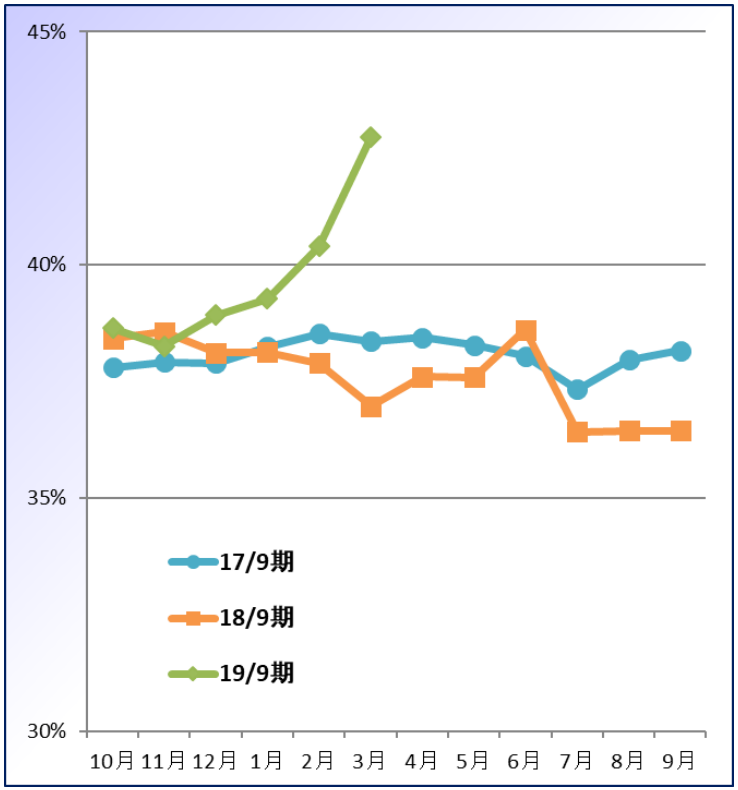
買上単価・買上点数前年比推移



販売価格の見直し

新商品で高付加価値商品を開発し、既存商品価格帯以上で販売
⇒　300円以上のデザート等中心に販売強化を図る
⇒　1月～4月にかけて段階的に既存品の価格見直しを開始
⇒　茂蔵の新たな価格帯の浸透をはかり、より良いものをより安くの
　　グレードアップを推し進める

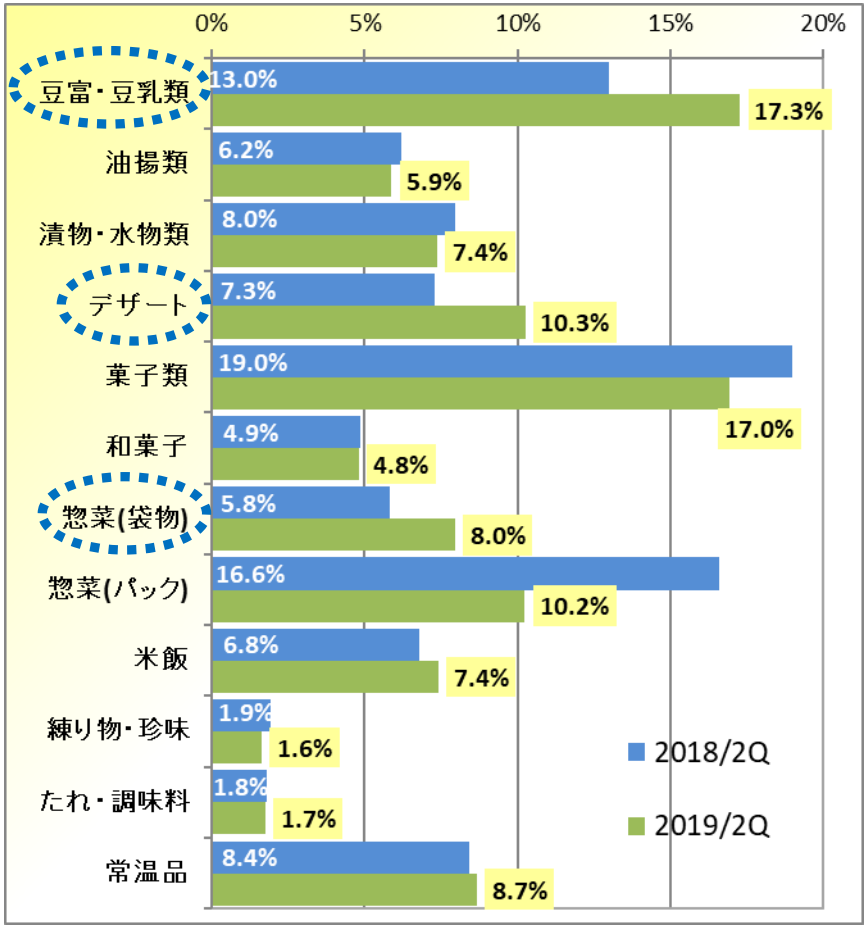
直営事業の売上総利益率推移



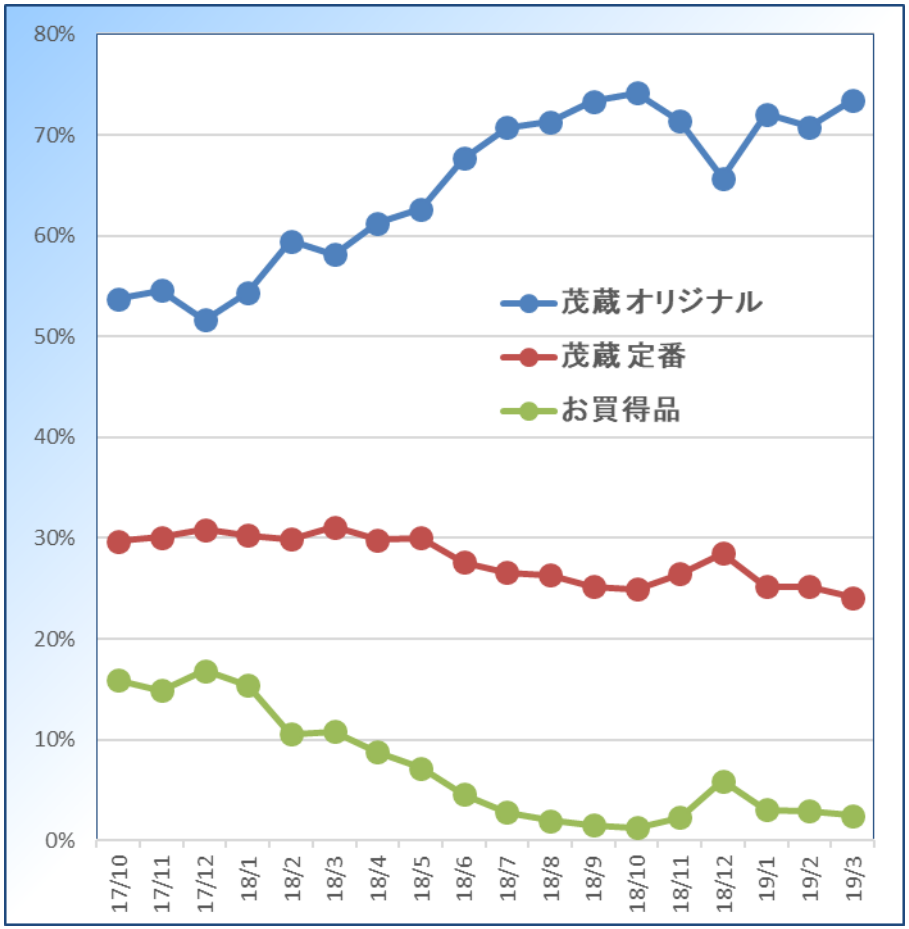
カテゴリーの戦略化による結果

「茂蔵オリジナル」「茂蔵定番」「本日のお買得品」の最適構成に向けて
⇒ 茂蔵オリジナル、茂蔵定番の価格見直しに伴うグレードアップへ
⇒ 適正比率は継続的に検証中

カテゴリー別売上高構成比



戦略的カテゴリー別売上構成比推移



店舗リニューアル

・店舗リニューアルにより**1年間平均売上昨対104%程度**を想定
　⇒　前期までの実績が根拠となるが、4月迄に実施した
　　既存品価格見直し効果については3Q以降で検証
・店舗リニューアルと研修の同時実施により、着実に顧客数が回復
　⇒　リニューアルと研修をセットで実施しないと効果が低い
　⇒　計画的通りに着実に進行

杉田店

北千住店

弘明寺店

新小岩店

京王稲田堤店

郊外店（北川辺店・幸手店）

吉祥寺店

成増店

浦和店

2019年9月期3Q以降の取組み

商品開発の強化

・既存商品の価格見直しに伴い、茂蔵オリジナル・定番商品開発強化
　⇒　より良いものをより安くのグレードアップ
・顧客の利便性とまとめ買いを追求
　⇒　フレッシュパック商品のアイテム増加を図る
・戦略的カテゴリー構成比の適正比率を追求

販売手法の強化

・研修センターを活用し、販売ノウハウの共有化を継続的に推進
・費用対効果の高い店舗から店舗リニューアルを実施
　⇒　対象リニューアル店舗はパート・アルバイト全員研修を実施
・新店出店については、前期同様のスタンス

商品開発の強化

通常の豆乳を2種類に分離
（牛乳より牛乳味の衝撃的な豆乳）

超濃厚豆乳
（牛乳に例えれば生クリーム）

超濃厚豆乳をにがりで固めた
ナチュラルクリームTOFU

9月発売
324円

低脂肪豆乳
（牛乳に例えれば低脂肪牛乳）

チーズの製法同様、乳酸菌を添加
発酵豆乳クリーム

クリーム

10月発売
350円

チーズ

12月発売
324円

バター

2月発売
358円

高付加価値茂蔵オリジナル商品開発
（動物性たんぱく質を植物性たんぱく質に
置換えても遜色のない商品開発が可能に）

高付加価値商品開発

素材としてナチュラルクリームTOFU・発酵豆乳クリームを使用

ティラミス

324円

レアチーズケーキ

324円

苺のレアチーズケーキ

324円

ラムレーズンケーキ

324円

レアスイートポテト

324円

クランベリーレアケーキ

324円

抹茶ケーキ

324円

シナモンカプチーノケーキ

324円

ガトーショコラ

580円

デコレーションレアチーズケーキ

580円

豆腐まるごとシリーズとしてマンスリー企画で開発・販売

↓

アイテム別売上高毎月1位

豆乳クリームプリン

280円

ベイクドチーズケーキ

580円

プレミアム生チーズケーキ

380円

豆乳あんクリーム大福・草大福

380円

高付加価値で対応できるデザート・和菓子から
商品開発・発売をスタートし、今後はカテゴリー拡大へ

フレッシュパック商品の対応

顧客の利便性とまとめ買いが目的

鮮度感の高い商品が顧客数の来店頻度向上に繋がる
⇒　賞味期限が短い商品アイテムを投入
⇒　顧客は1～2日で食べられる分を購入
結果、買上点数が増加しない＝顧客単価の向上が見込めない

徐々に顧客へは浸透しつつあるが、現在の10アイテム程度では、顧客の選択肢が少なすぎる
⇒　協力工場を現在の1工場から増やしアイテム数の増加を図る

まとめ

高付加価値商品開発の強化と販売手法の強化の両輪

高付加価値商品開発

・新素材を活用した茂蔵オリジナル商品開発
・顧客の利便性とまとめ買いを目的とする商品投入
・戦略的商品カテゴリーの適正な構成比を追求

販売手法

・研修センター、店舗リニューアルの徹底的な活用

豆腐専門店としての認知度向上

⇒ 顧客数の来店頻度向上は勿論、高付加価値オリジナル商品とより良いものをより安くのグレードアップで顧客単価も向上
⇒ 既存店舗で売上の拡大

2019年9月期　通期業績について

天候・景気動向等の外部要因の予測が困難なため、
現時点では開示いたしません。
情報開示につきましては、
月次ベースで店舗等の情報を開示します。

お問合せ先

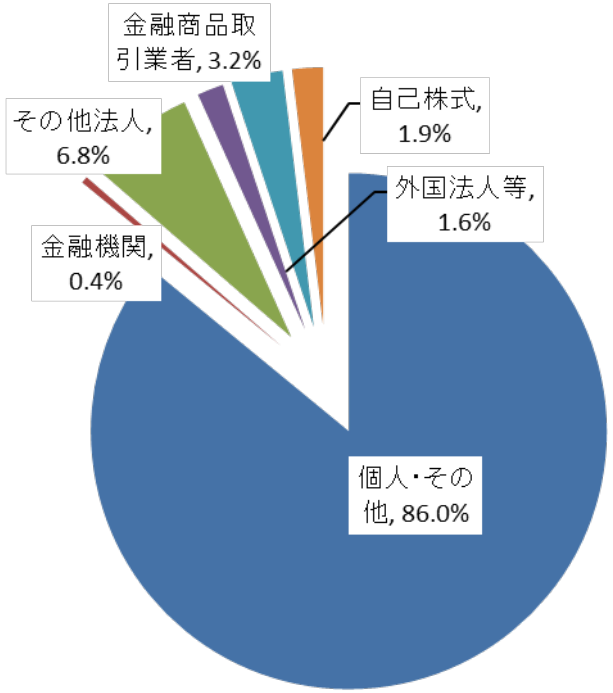
【担当者】
取締役管理グループ長
兼経営企画部長兼IR室長　　矢立　実
TEL：048・970・4949　　FAX：048・970・4889
E-Mail　：　ir@shinozakiya.com
URL　　：　http://www.shinozakiya.com/

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2019年3月末現在の財務データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

株式の状況

（2019年3月末日現在）

	株主数	株式数	株式数分布比率
個人・その他	7,582	12,408,271	85.95%
金融機関	1	61,000	0.42%
その他法人	39	984,600	6.82%
外国法人等	24	237,078	1.64%
証券会社	19	466,851	3.23%
自己株式	1	278,800	1.93%
合計	7,666	14,436,600	100.00%

大株主情報

株主名	持株数	議決権比率
樽見　茂	3,029,900	21.40%
㈱鈴木物産	373,000	2.63%
㈱ハギワラ	350,000	2.47%
篠崎屋取引先持株会	307,800	2.17%
樽見　登美子	289,000	2.04%
㈱篠崎屋	278,800	–
樽見　浩	261,300	1.84%
篠崎屋役員持株会	243,800	1.72%
喜多村　靖郎	216,700	1.53%
中川　裕朗	146,100	1.03%